

# うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のこです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」や NPO 団体などを紹介します。  
問 地域振興課 ☎82・3910/IP ☎88・9094

## 1 うだの夢朝市 in 榛原 (軽トラ朝市)

～ 菟田野まち協 ～

12月12日、「うだの夢朝市 in 榛原」(軽トラ朝市)は、今回で2回目の開催となりました。  
午前9時から正午までの開催でしたが、開店前からたくさんのお客さんに来ていただき新鮮野菜をメインに好調な滑り出しでオープンしました。  
今回は「やきいも」と「パン」の2店舗が増え、7店舗となりました。



▲自作のやきいも窯を軽トラに搭載

初出店の「やきいも」の出店者は自作のドラム缶を利用した素敵な「やきいも窯」を軽トラに積み込み、甘い匂いが立ち込める中、皆さんにお買い求めいただきました。  
また、ファミリーズの皆さんのバンド演奏により、場内の雰囲気も盛り上げていただきました。  
お客さんは、約150人ほど来ていただき、短い時間でしたが盛況のうちにも演奏もゆつくりと楽しめました。「買いたい物も演奏もゆつくりと楽しめました」とうれしい感想もいただきました。  
次回は春野菜ができる頃に開催を予定していますので、お楽しみに！

## 2 井足岳記念登山を実施

～ 大王地区まち協 ～

12月5日、井足岳記念登山を開催しました。冬晴れの朝、集合場所の農林会館では登山に参加をする55人が、コロナ対策の検温と消毒を受けながら登録受付をしました。  
今回の登山は井足岳登山道開発部会が中心となり、5年がかりで進めてきた「井足岳登山コース」の完成記念登山として、大王地区体育協会との共催で実施しました。  
参加者は出発後、フレンドパークを抜けて井足岳を目指しました。険しい山道に入ると皆「ハーハー」と息を切らしながら登っていました。展望所に着くと一息ついて、眼下に広がる集落や遠方の山々を見ながら登山スタッフの説明を聞いていました。  
さらに井足岳(550m)を目指し、山頂では休息をとって皆で記念撮影をしました。参加者の顔には頂上まで登った達成感が見えました。その後、木々の中のヤマガラのおさえずりに疲れを癒され、奥の森林道を通り農林会館まで全員無事に戻りました。  
会館では豚汁とおにぎりのおもてなしを参加者全員へ用意。みんな「美味しいね」と言いながら食べていました。



▲井足岳山頂で「記念撮影！」

## 3 室生ごども園へ

マルベリー寄贈植樹

～ 一般社団法人クオリティオブライフSANKI ～

宇陀市まちづくり活動応援補助金の採択を受け、三本松地区の未来を創造するために多種多様な事業を企画立案し、実行していく団体として活動しています。  
三本松地区を中心に休耕作地を利用してマルベリー(桑の木)を生産。将来はマルベリー農園として運営し、体験型(マルベリー狩り、農業体験など)の実施や雇用にもつなげていきます。



▲どんな花が咲くのかな

10月28日、室生ごども園にて園長先生をはじめ年長児や三本松まち協の役員等出席のもと「マルベリーの寄贈植樹」を行いました。  
園児たちは、植樹した木に花が咲き、実がなることに驚いていました。また、植え方の説明を受けた後二人一組で1本の苗木を植え、肥料を与えた後に土を優しく丁寧にかき混ぜ、水をあげました。どんな実ができるのか楽しみに、これからもがんばって水やりをしていくことでしょう。

## 4 「キクスノヒト」で活動中!

～ 宇陀市仕事づくり推進隊 ～

皆さん、こんにちは。宇陀市仕事づくり推進隊の田島 浩樹(こうき)です。私は、「キクスノヒト」という屋号で活動しています。現在、木工所や施工現場から排出される木屑を回収し、それを原料に商品開発を行っています。仕事づくり推進隊として、主に食にまつわるプロダクトを開発中です。

12月10日から12日に大阪で開催された「カタログの無いものづくり展」に出展しました。この展示会は一般の方をはじめ、多くのものづくりや空間づくりに関わる建築家や設計士といったプロの方々との交流が主になっていました。施工現場でも、環境配慮や持続可能性を意識した素材の活用は注目度が高くなっており、本来廃棄される予定の木屑を素材として、価値あるものに復活させ活用するというのが切り口も大変注目を浴びています。宇陀をはじめ関西を中心に開催し活動しています。主な活動はインスタグラムにて発信中です。



▲展示会の様子



▲僕の作った「ランプシェイド」です



## コブシ

早春の花といえば、コブシを連想する人もいます。開花すると、一面に付けた白い花は遠くから見ても美しく、優雅な芳香を放つとても印象的です。  
そのコブシを、開花にはまだ早いこの時期に取り上げるには、理由があります。  
コブシの生薬名は辛夷(しんい)といい、この生薬はコブシのつぼみを使います。ところが、つぼみから少しも白い花弁が見えると、効果がほとんどなくなってしまうのです。そんな特殊な植物だからこそ、少し早く取り上げたのです。今なら、つぼみも良く膨らみ、とても

よい薬効が期待されます。  
1日につぼみ1〜3個を煎じて服用すると、蓄膿症や鼻水など鼻の病気、頭痛やめまいなど頭部の病気に効果があります。頭部の病気に効果がある生薬は少なく、脳の白蟻化(認知症の初期症状)を防ぐ作用があるイチヨウや、認知症防止に効果がある柿の種子などとともに、大切な生薬です。  
年を取り、頭がすっきりしなくなったという人は、服用を続けるとすっきりするようになります。鼻粘膜の血管収縮作用があり、鼻閉(鼻詰まり)にも効きます。



薬草逍遙(やくそうしやうよう) 毎回「薬草」に関わる内容を連載でお届けするコラムです。

▲消炎作用や筋弛緩作用もあります。  
※当市で「薬草活用講演会」をしていた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

問 商工業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075